

第117回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和5年9月22日（金） 13:30~14:52

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Zoom使用）

出席者 藤澤議長（学長）、
金子委員、齊藤委員、坂井委員、坂田委員、高土委員、寺島委員、
平尾委員、丸谷委員、宮田委員、木戸委員、大村委員、河端委員、
奥村委員、中村委員、吉田委員、柿原委員

（オブザーバー）外村監事、林監事、松尾副学長、喜多副学長、近藤副学長、
眞庭副学長、南副学長、長坂人文学研究科長、高橋法学研究
科長、小池工学研究科長、村上医学研究科長

欠席者 齋藤委員、久元委員、北川委員

議事要録について

第116回の経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、
役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明が
あった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

1 令和5年人事院勧告について

令和5年の人事院勧告の概要及び本学における対応案について説明があ
り、審議の結果、原案のとおり承認した。

2 国立大学法人神戸大学学則の一部改正について

新たにデジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構及び水
素・未来エネルギー技術研究センターを設置することに伴い、国立大学法人
神戸大学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案の
とおり承認した。

○ 分野を包括・横断する学術研究、大学教育、国際連携の各機構と特
定の技術分野・研究分野を推進するデジタルバイオ・ライフサイエン
スリサーチパーク推進機構との横並びに考えたとき、マッチングに関
して何か議論はあったか？

→ デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構は、経
営改革促進事業の中心であり、本学の成長エンジン・最重点領域とし
て、敢えて通常の全学センターとは違う学長直下の機構とし、かつ同
じ学術研究、大学教育、国際連携の各機構と並列した形で設置したも
のである。

- 3 国立大学法人神戸大学特定有期雇用医療職員就業規則の一部改正について
科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（平成20年法律第63号）に基づく労働契約法の特例措置の運用を見直すことに伴い、国立大学法人神戸大学特定有期雇用医療職員就業規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 4 2024年度 研修医特別研修制度の見直しについて
現行の「副直制度」を見直し、研修医が全ての診療科ローテーション中に準夜帯勤務又は深夜勤務等を経験できる機会を設けられるよう研修制度を見直すことについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 5 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況について
国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

- 1 令和6年度概算要求の概要について
令和6年度の概算要求の概要について報告があった。
- 2 令和4事業年度財務諸表の承認について
令和4事業年度の財務諸表について、文部科学大臣の承認を受けた旨報告があった。
- 3 令和4事業年度 第3期中期目標期間における重点支援枠③16大学財務諸表分析資料について
重点支援枠の1つである重点支援③の対象16大学の財務諸表について報告があった。
 - 神戸大学の運営の基本方針であるグローバル化の観点から国際共同研究のトレンドのデータはどのようになっているか？
 - 国際共同研究に関する本学の対応として、地域中核研究大学等強化促進基金助成金事業においては、グローバルイノベーションを強力に推進する申請としており、グローバル展開ができるような協力、知財運営ができるような人材確保に焦点を当てた計画としている。
 - 大学の方針として異分野共創とグローバル化の二つの軸が教育研究に被さっており、今後、自己評価する上でも非常に重要な観点なので、データの整理について取り組んでいただきたい。
 - 異分野共創については、抽出された異分野共創プロジェクトに資金を投じて将来のフラッグシップに育て上げる取組を実施し、また、国際共同研究についても国際共著論文や海外からの研究者招へいなどに資金を投入しており、海外の企業も含めた形で共同研究の活性化を考えている。

○ ベンチマーキングして、特に着目している大学はあるか？広島大学における教員一人当たりの外部資金受入額は神戸大学と変わらないが、最近の動向として、広島大学は教員評価に厳しい態度を取っていると聞かすが、それと関係があるのか？

→ 神戸大学は、各研究科に総合評価指標を用いて評価を行い、その評価に応じてインセンティブを出す方策を取っている。神戸大学は広島大学より教員数が300人ぐらい少ない状況の中で共同研究などの外部資金を獲得している。現在、外部資金受入額は180億円であるが、受入額200億円を目指し、年成長率2%を超える大学の経営形態、経常収入となるよう進めて参りたい。

4 神戸大学医学部附属病院予防医療研究開発センターの設置について
健診・予防医療を通じた国民の健康増進と生活指導による一次予防、早期発見・早期治療による二次予防の向上を図るため、医学部附属病院国際がん医療・研究センターに附属病院の院内措置の組織として「予防医療研究開発センター」を設置することについて報告があった。

5 令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の選定結果について
令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の選定結果について報告があった。

6 2022（令和4）年度第4四半期神戸大学資金運用実績報告について
2022（令和4）年度第4四半期神戸大学資金運用実績について報告があった。

7 環境報告書2023について
環境報告書2023の概要について報告があった。

◎ 次回は、令和5年11月22日に開催予定。